

よんでネット* 春号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会

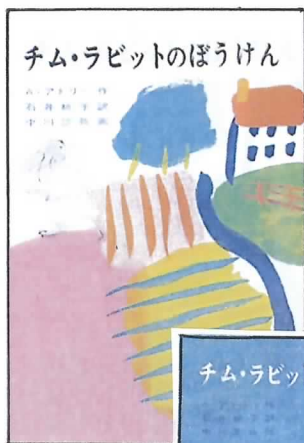
「まんげつの夜、どかんねこのあしが いっぽん」

山^{やま}にひとりですむノネコは、お客^{きやく}の分^{ぶん}まで料理^{りょうり}を
 作り、それをひとりで食^たべたから狸^{たぬき}みたいに大き^{おお}
 くなった。お客^{きやく}さがしに山^{やま}をおりたノネコは、犬^{いぬ}に
 おいかけられ土管^{どかん}の中^{なか}へ。でも、おなか^{おなか}がつかえて
 出^でられない。外^{そと}に出^でたのは、しっぽ^{しっぽ}と足^{あし} いっぽんだけ。
 おまけにまんげつ^{まんげつ}の夜^{よる}猫^{ねこ}たちは土管^{どかん}の上^{うえ}で歌^{うた}え
 踊^{おど}る。たん、たん！ する^{する}と土管^{どかん}がぐらぐら……。
 さて、ノネコは目^め力^{ちから}かるか？

朽木祥 作
片岡まみこ 絵



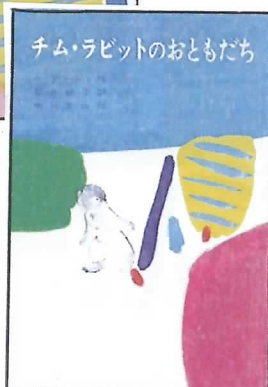
小学館 [9137]



「チム・ラビットのぼうけん」

A・アトリー 作 石井桃子 訳 中川泉弥 画

チムは うさぎの男^{おとこ}の子^こ。ある日^ひ くさかりばで人間^{にんげん}がわすれた
 はさみ^{はさみ}を見^みつけました。持^もって帰^{かえ}るとお父^{ちち}さんは
 なんでも切^きれると教^{おし}えてくれました。そこで
 チムは切^きり始^{はじ}めました。毛布^{もろふ}に、テール^{てい}かけに、カテン。
 最^{さい}後^ごに自^じ分^{ぶん}の毛^けまで... 9つのお話^{はなし}が入^{はい}っています。
 『チム・ラビットのおともだち』も あります。

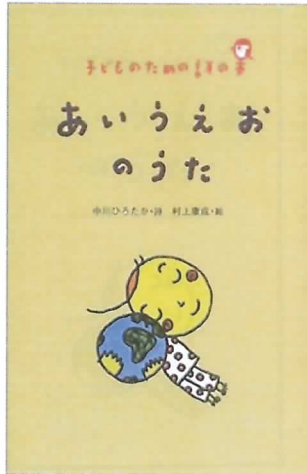


童心社
[9937]

子どものための詩の本

「あいうえおのうた」

中川ひろたか・詩
村上康成・絵
のら書店〔9117〕



「ナディアおばさんの予言」

マリ・デプルシャン / 作
末松 氷海子 / 訳
津尾 美智子 / 絵
文研出版
〔953デ〕



「あ」から「ん」まで 50音のたのしい詩。

「あさ」 あさがきた あさがきた
あさがきたから
きょうは きょうになった

「いろ」

「うがい」

...

「ん」 なに？って きいてはみたけれど
ひとり な、とくしているような
ん

あくち
無口で おとなしい サミールは いつも
じしん
自信がもてません。ところが ある時、
ナディアおばさんに トランプ^{うすび}占いで
「あなたは半年以内に 友達のために
いのち えい ゆう
命をかけて、英雄になる」と言われます。
でも サミールは、うれしい気持ちよりも
ふあん
不安で いっぱいです。

「たんぽぽ」 荒井 真紀 文・絵



金の星社〔477〕

冬のあいだに 根をのばし 春に花を咲かせ
か
枯れると「わたげ」を飛ばして 新しい命を運ぶ
あたろ いのち いほこ
たんぽぽの 一生を美しい絵で ていねいにかいた
いっしやう うつく え
絵本です。たんぽぽは とても不思議な植物で
ふしぎ しょくぶつ
何日か かけて観察したら おもしろい発見がたくさん
はんいち かんさつ ほっけん
あります。花が枯れ、くきがたおれて もうあわりかな
か
と思っていると、何日かして たおれたくきが 立ち
おも
あがるのです。そして...